

ヨシナカ新聞

三度笠の由来と生産地

今年の年賀状は14億7000万通で昨年より7パーセント少ないそうです。メールやライン等の発達で毎年減少傾向だそうですが、そうだとすると14億枚以上の年賀状が日本国内を飛び交っているのは凄いなと驚くばかりです。

日本の郵便事情は昔は交通事情も現在のように発達しておらず、飛脚が主流でした。この飛脚が被つていた三度笠、江戸時代に江戸・大阪・京都などを毎月定期的に三度往復していた飛脚が被つていたことから『三度笠』と呼ばれるようになったそうです。

東京、大阪間の約600kmを月に3度往復するということは10日間で1往復(1200km)ということになります。一人では到底無理で各宿場で別の飛脚に引き継ぎ、今でいう駅伝スタイルで運んでいたのだそうです。

この三度笠は菅笠(すげ

がさ)で、弊社富山工場がある富山県高岡市福岡町が一大生産地で現在でも全国シェアの約9割以上を占めています。

福岡町における菅笠生産は、伝承によれば室町時代の嘉吉年間までさかのぼります。江戸時代中期から後期になると、独立した笠問屋が福岡で多くみられるようになり、藩の産物会所が福岡町に設置されたことで、砺波郡域の菅笠集散地として機能することになったそうです。

この菅笠、幕末を迎える元治元年(1864)には21万蓋(かい)が出荷されました。現在は年間6万蓋程度になっていますが、良質の菅草を活かした生産技術レベルは種類の多さにも反映され、全国一の高品質な菅笠を出荷し続けています。弊社製品も菅笠に負けない高品質でお客様にお届け出来るよう頑張りますので、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

大阪のおぼちゃんに「あめちゃん」を持っているのか?

こんな疑問に、子育て情報紙『お母さん業界新聞』大阪編集部が大阪在住の女性112人を対象にしたアンケートを実施したところ、53%に当たる59人が「いつもあめを携帯している」と回答したそうです。近所付き合いが希薄になり子供にあめをあげる光景も過去のものと違い出かける際には必ず専用ポーチを持つているとの答えもあったそうです。私も大阪勤務時代には電車で4人席に座っていた時に隣に座っていた知らないおぼさんからあめを貰った経験があります。賑やかで厚かましと言われる大阪のおぼさんの優しい一面が見えて心がほっこりする話題でしたので紹介させていただきます。



1月号 発行所 榊北陸ヨシナカ 東京営業所 TEL:03-3555-0796

ウイルス予防の知識

土曜日に発刊されている『NIKKEIプラス1』という日本経済新聞の別号に掲載されていた”ウイルス予防、あなたの知識は?”の内容が興味深かったので紹介させていただきます。

1. 風邪やインフル予防に取りたい栄養素は? (正解率9.2%)

- ①ビタミンA ②ビタミンC ③ビタミンD

<答えは③>ビタミンDはカテリシジンという抗ウイルス作用のあるタンパク質を誘導し、免疫力を高めます。イワシやサケ、マイタケなどのキノコ類に含まれている。

2. インフル、ワクチンを打つ回数は?

ステンレス豆知識 ニッケル

オーステナイト系ステンレスには必須のニッケルについてのお話です。ニッケルは鉄族元素のひとつで元素記号「Ni」原子番号28。原子量58.69。銀白色。耐食性が高いため、合金・メッキ・硬貨の原料などに利用されています。スウェーデンの化学者で鉱物学者であるアクセル・クロンステットが1751年に単体分離しました。名称はニッケル鉱石が銅鉱

(正解率26.5%)

- ①何歳でも1回で良い ②13歳以上なら1回 ③15歳以上なら1回

<答えは②>12歳以下は免疫がつきにくいので、2回が一般的。13歳以上は医師が必要と認めるケースを除けば1回で抵抗力が得られる。

3. 小・中のインフル、火曜に発熱、金曜に解熱なら登校はいつから? (正解率27.4%)

- ①月曜以降 ②火曜以降

<答えは①>以前は「解熱後2日を経過するまで」だったが、解熱してもウイルスの排出が続くケースがあるため「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」になった。

石に似ていながら銅を分離できないことからドイツ語で「kupfernickel(悪魔の銅・魔法にかげられた銅色の鉱石)」と呼ばれていたことにちなみ、「kufer(銅)」を除いて「nickel(ニッケル)」としたそうです。

ニッケルは、尿素的分解を促進する酵素にも含まれています。ビタミンB6と共に核酸やたんぱく質の代謝を助けるほか、様々な酵素を活性化させ細胞分裂を促進させる働きがあ

4. インフルのウイルスが最も生存しやすいのは? (正解率35.5%)

- ①マフラー ②雑誌 ③硬貨

<答えは③>金属やプラスチック、ガラスなど表面がつるつるした物質や手では24~48時間生存。紙や繊維では8時間以内。

5. 風邪の予防には水よりうがい薬が良い(正解率36.5%)

- ①はい ②いいえ

<答えは②>2005年に京都大学が行った臨床実験で、水でうがいをしたグループはまったくうがいしなかったグループに比べて約40%、風邪の発症を抑えられた。うがい薬を使ったグループは約12%だった。

るため、亜鉛に似た働きがあると考えられ、様々な研究が進められているミネラルでもあります。ニッケルを多く含む食品(食べ物・食材・料理・野菜・果物・肉)は以下のようになります。■ココナツ(乾):1400µg ■青海苔:870µg ■抹茶:740µg ■小豆:440µg ■カシューナッツ:370µg ■きび:220µg ■はとむぎ:160µg (含有量(mg)/可食部100g当たり)